

CASBEE® 名古屋

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-運用(第2版)2019年6月、名古屋中規模建築物環境配慮計画マニュアル2018 使用評価ソフト: CASBEE_Nagoya_2016(v1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	名古屋市営柳原荘(3棟)	階数	地上9F
建設地	名古屋市中区柳原三丁目地内	構造	RC造
用途地域	第2種住居地域、準防火地域、31m高度地区、緑化地域	平均居住人員	81 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年3月 予定	評価の実施日	2020年8月13日
敷地面積	1,458 m ²	作成者	
建築面積	419 m ²	確認日	2020年8月13日
延床面積	2,641 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
= BEE1.6 S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★ C: ★	★☆☆☆☆ 標準計算 ①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+ このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです	

2-4 中項目の評価(バーチャート)			
Q 環境品質			
Q1 室内環境 Q1のスコア= 2.9	Q2 サービス性能 Q2のスコア= 2.8	Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 3.8	Q のスコア= 3.1
LR 環境負荷低減性			
LR1 エネルギー LR1のスコア= 4.2	LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.2	LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.4	LR のスコア= 3.6

3 設計上の配慮事項			その他
総合 既存住棟の建替え事業である本計画は第2期目の工事となり、実施済みの第1期目住棟2棟と一団地となることで完成します。その関連性及び継続性に配慮し、敷地北側の堀川沿いの桜を活かして整備し、住民及び近隣の愛着のわく場所となるようにします。			
Q1 室内環境 - 室内化学物質調査では規定値をクリアされている。 - F☆☆☆☆以上を全面的に使用し、室内化学物質調査をしている。	Q2 サービス性能 - 建築基準法上の耐震性をクリアしている。 - 住宅性能表示基準劣化対策等級3をクリアしている	Q3 室外環境(敷地内) - 敷地内緑地を条例基準以上確保している。 - 地域を考慮した外観デザインを採用している。	
LR1 エネルギー - 住宅性能表示基準断熱等性能等級4をクリアしている。 - 南側バルコニーとしている。	LR2 資源・マテリアル - 大便器を節水型ロータンクとしている。 - 有害物質を含まない材料を使用している。	LR3 敷地外環境 - 分別可能な特定ゴミ置き場を設置している。 - 適切な量の自転車置場、駐車スペースを設けている。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

重点項目スコア・結果シート

名古屋市営柳原荘(3棟)

■使用評価マニュアル:

CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル:

■評価ソフト:

CASBEE_Nagoya_2016(v1.0)

重点項目		評価	全体に対する重み係数	重点項目スコア
1. 温暖化対策				4.0
LR1	エネルギー	4.2	0.4	
LR3.1	地球温暖化への配慮	4.7	0.1	
LR3.2.2	温熱環境悪化の改善	2.0	0.066666667	
2. 自然共生				3.1
Q3.1	生物環境の保全と創出	3.0	0.09	
Q3.3.1	地域性への配慮、快適性の向上	有	0.009	
Q3.2	まちなみ・景観への配慮			
Q3.3.2	敷地内温熱環境の向上	3.0	0.045	
3. 循環型社会				3.3
LR2.1	水資源保護	3.0	0.06	
LR2.2	非再生性資源の使用量削減	3.4	0.18	
LR3.2.3	地域インフラへの負荷抑制 ※2	3.0	0.016666667	

結果

1. 温暖化対策

評価点 = 4.0



2. 自然共生

評価点 = 3.1



3. 循環型社会

評価点 = 3.3



重点項目のスコアは以下のように算出している。

$$\text{重点項目スコア} = \frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{全体に対する重みの総和}}$$

※1 ここでは、Q3. 3. 1の評価する取組みのうち評価項目 1 2) 地域性のある材料の使用 又は、Q3. 2において評価する取組みのうち評価項目 4) 地域性のある素材による良好な景観形成 のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない場合は「無」を評価とした。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ3. 3. 1の全体に対する重みに0. 2を乗じたものとしている。

※2 ここでは、LR3. 2. 3のうち、LR3. 2. 3. 3 交通負荷抑制 を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3. 2. 3の評価点とは異なるものである。